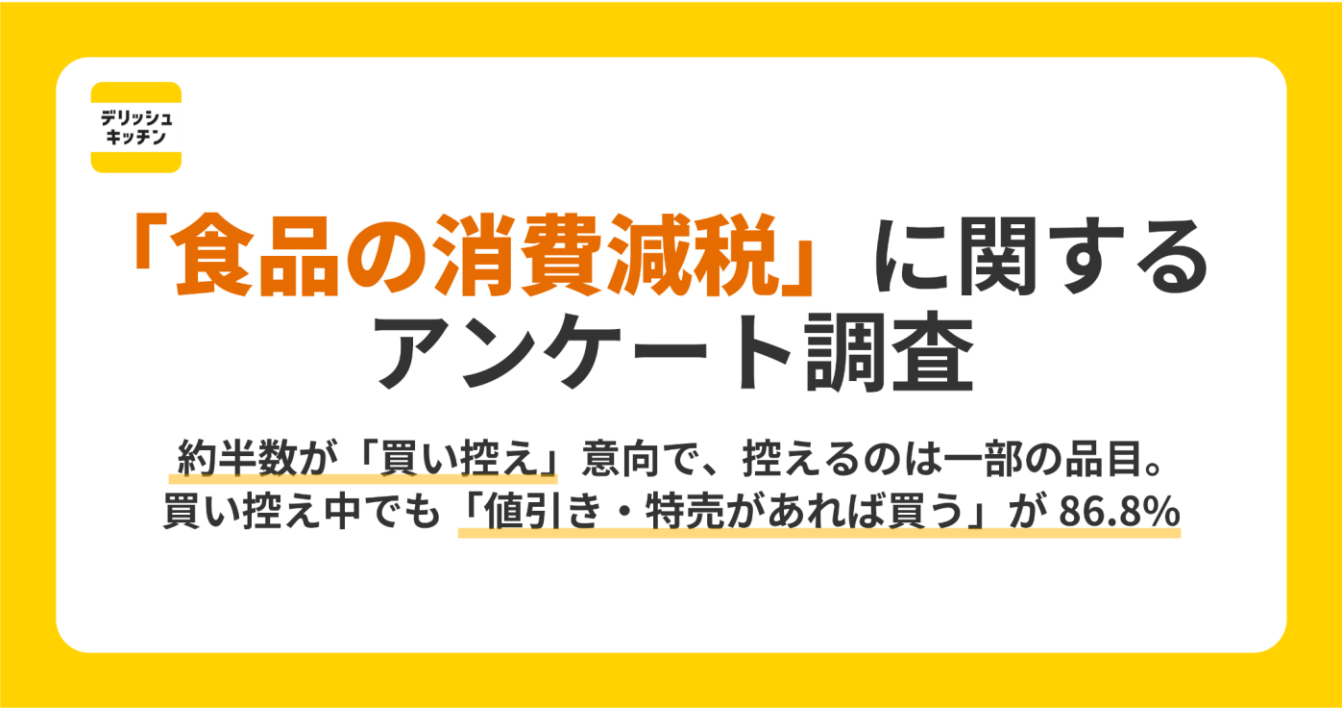
PRESS RELEASE
2026年11月20日

食品の消費減税を前に、約半数が「買い控え」意向――『デリッシュキッチン』1,143人調査

―控えるのは一部の品目。買い控え中でも「値引き・特売があれば買う」が86.8%―

株式会社エブリー（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田 大成）が運営する『デリッシュキッチン』は、ユーザー1,143名を対象に、2027年4月に予定されている食料品の消費税率引き下げを前にした「買い控え」に関するアンケート調査を実施しました。約半数（47.0%）が減税前に何らかの食品の購入を控えると回答した一方、「大半の食料品で控える」は11.1%にとどまり、控える対象は価格が高めの肉や食用油など一部の品目に偏ることがわかりました。なお、年代別の分析や物価高による購入行動の変化など、より詳しい調査結果は『デリッシュキッチン』法人向けサイトで公開しています。



詳しい調査結果はこちら▶https://biz.delishkitchen.tv/blog/survey-food-tax-cut-2

調査の背景

『デリッシュキッチン』が2026年8月に実施した第1弾の調査（https://corp.every.tv/news/20260903）では、97%が減税の見通しを「知っている」と回答しました。減税の開始が近づくなか、「減税されてから買おう」と購入を先送りする動きが広がれば、店頭の売れ行きにも影響が出ると考えられます。そこで第2弾となる今回は、減税前の買い控えの規模・品目・時期と、買い控え中でも購入につながる条件について調査しました。

調査概要

■調査方法：『デリッシュキッチン』アプリ内で実施したアンケート

■調査対象：『デリッシュキッチン』利用者

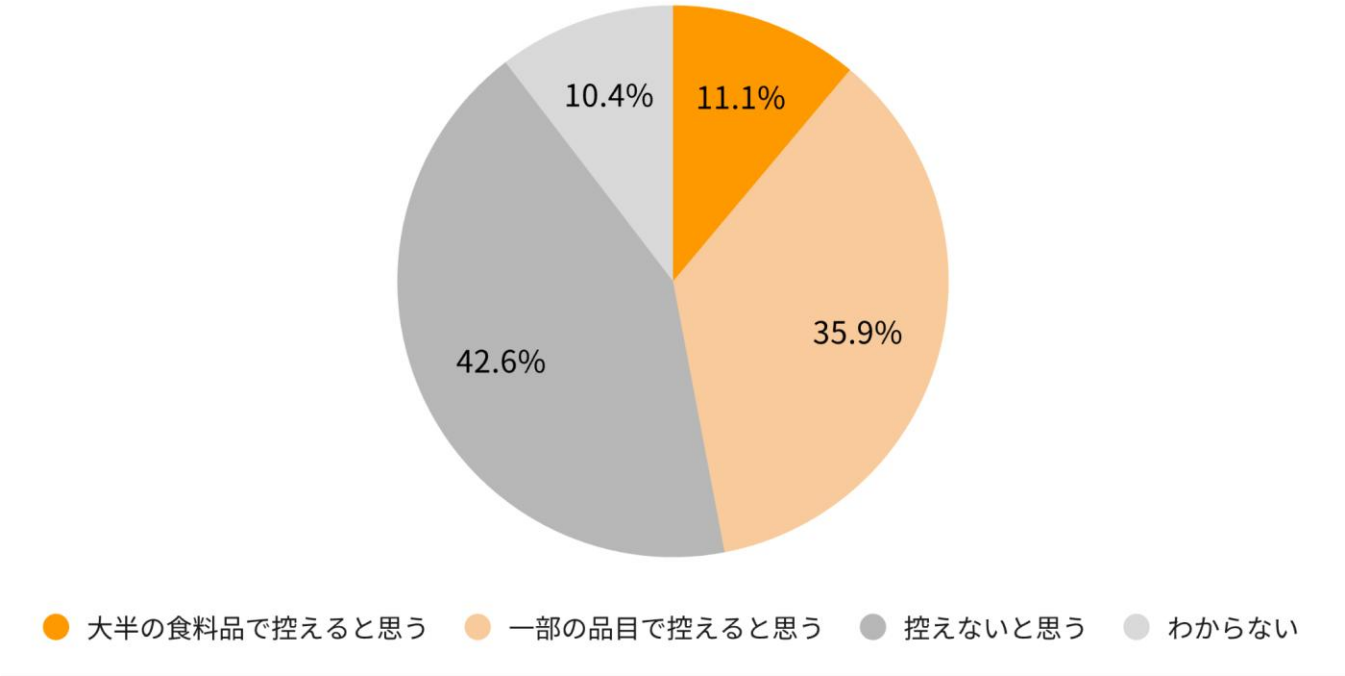
■回答数：1,143

■調査期間：2026年10月8日～10月29日

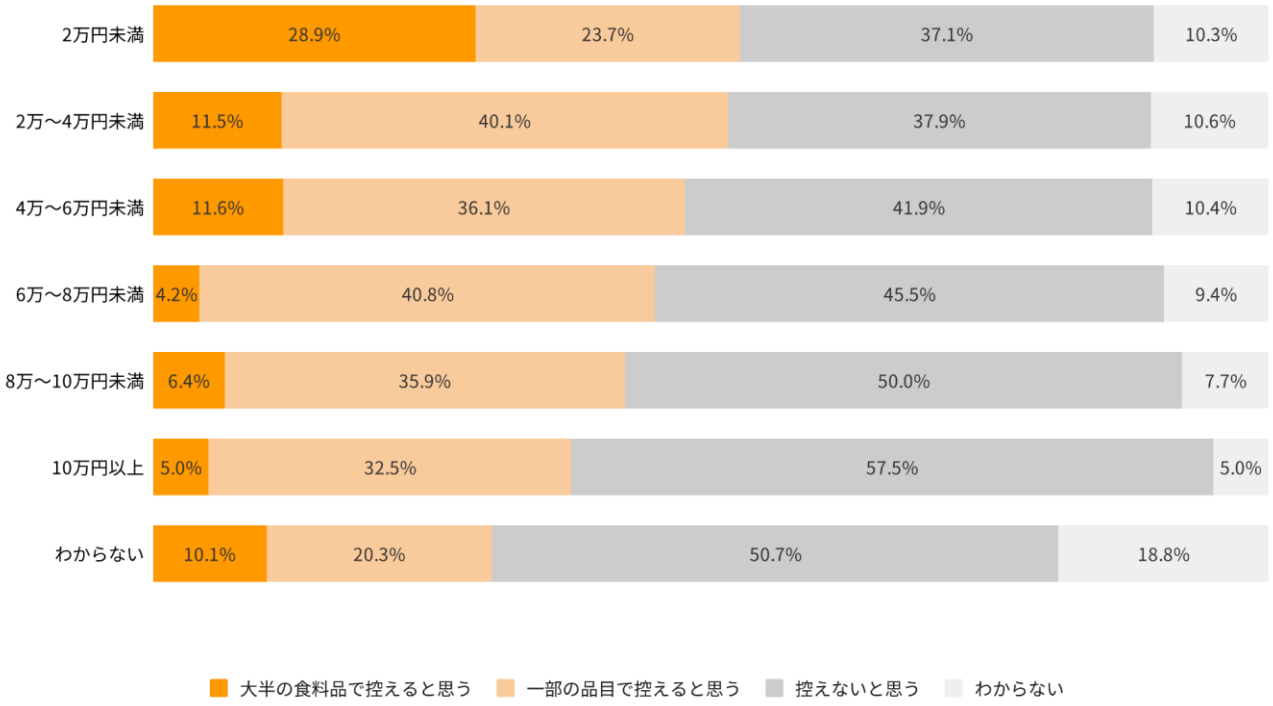
調査結果

1. 約半数（47.0%）が減税前に何らかの食品を控えると回答。ただし「大半の食料品で控える」は11.1%

減税前に食品の購入を控えるかを尋ねたところ、「一部の品目で控えると思う」が35.9%、「大半の食料品で控えると思う」が11.1%で、合わせて47.0%が何らかの食品を控えると回答しました。一方、「控えないと思う」は42.6%でした。「大半の食料品で控える」は約1割にとどまり、控える対象は一部の品目に偏ると考えられます。

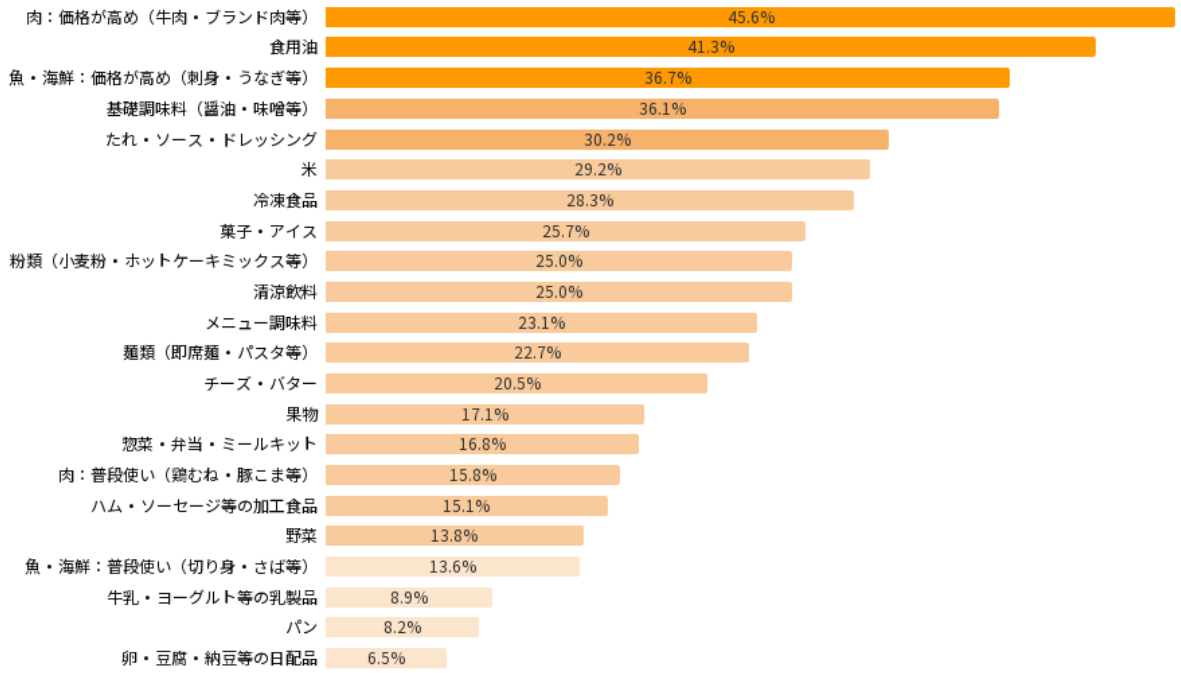


1ヶ月の世帯食費別に見ると、2万円未満の世帯では「大半の食料品で控える」が28.9%と、全体（11.1%）の2倍以上になりました。一方、食費が多い世帯ほど「控えないと思う」が増え、10万円以上の世帯では57.5%でした。



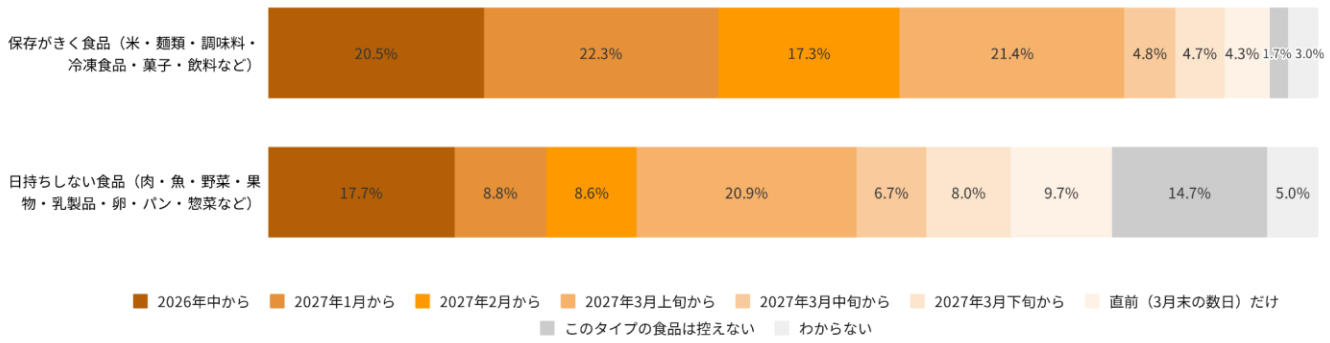
2. 控える食品の上位は「価格が高めの肉」45.6%、「食用油」41.3%。日配品やパンはほとんど控えられない

買い控え意向がある方に、減税まで購入を控える食品を尋ねたところ（複数回答）、「肉：価格が高め（牛肉・ブランド肉等）」45.6%、「食用油」41.3%、「魚・海鮮：価格が高め（刺身・うなぎ等）」36.7%、「基礎調味料（醤油・味噌等）」36.1%が上位となりました。保存がきく食品や価格が高めの食品が控えられる一方、「卵・豆腐・納豆等の日配品」（6.5%）や「パン」（8.2%）は、ほとんど控えられないことがわかりました。



3. 保存がきく食品は2月までに6割が控え始め、日持ちしない食品は3月に入ってから控えが進む

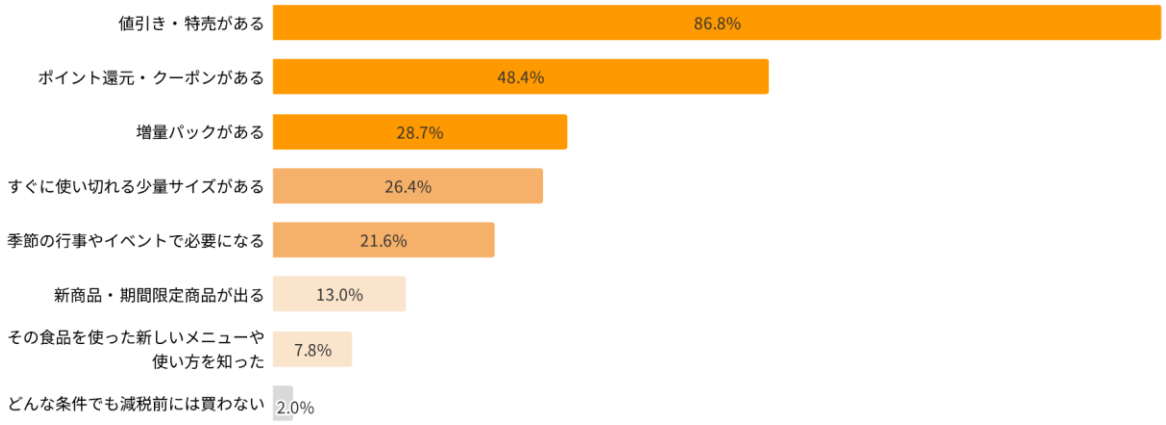
買い控え意向がある方に、控え始める時期を食品のタイプ別に尋ねました。米・麺類・調味料・冷凍食品などの保存がきく食品は、2027年2月までに控え始める方が60.1%にのぼりました。一方、肉・魚・野菜・乳製品などの日持ちしない食品は、2月までが35.0%、3月上旬までが55.9%と、減税直前の3月に入ってから控えが進むことがわかります。



※四捨五入のため合計が一致しない場合があります

4. 買い控え中でも「値引き・特売があれば買う」が86.8%

買い控え意向がある方に、減税前でも購入しようと思う条件を尋ねたところ（複数回答）、「値引き・特売がある」が86.8%で最も多く、「ポイント還元・クーポンがある」48.4%、「増量パックがある」28.7%が続きました。「どんな条件でも減税前には買わない」は2.0%にとどまり、価格面での後押しがあれば、買い控え中でも購入につながることがうかがえます。



調査結果から読み解く、減税前後の販促のヒント



デリッシュキッチンカンパニー
マーケティングソリューション事業部 ストラテジックプランニング
吉田 直矢

減税を前に、約半数の方が何らかの食品の購入を控える意向を示しました。控える意向がある方のうち、米や調味料などの保存がきく食品は年内から控え始める方が約2割、2月までには6割に達する一方、肉や野菜などの日持ちしない食品は3月に入ってから控える方が増えます。カテゴリーによって、手を打つべき時期が異なります。

一方、買い控え中でも「値引き・特売があれば買う」という方は86.8%にのぼりました。少し待てば安く買えるとわかっている時期だからこそ、普段以上に価格に敏感になっていると考えられます。そうした時期には、お得さが購入のきっかけになりやすく、商品を試してもらう機会にもなり得ます。

また、物価高を受けて、7割以上の方が何らかの食品で購入をやめたり、安い商品に切り替えたりしています。減税で食品が買い求めやすくなる時期は、こうした方に元の商品を選び直してもらう機会でもあります。そのために欲しい情報としては、「味やおいしさの違い」が最も多く挙がりました。

減税前の時期に合わせて、お得をきっかけに商品を試し、おいしさを実感してもらうことが、減税で買い求めやすくなったときに選ばれる商品になるための鍵になりそうです。

調査結果 詳細

『デリッシュキッチン』法人向けサイトでは、年代別の買い控え意向、食品タイプ別の控え始める時期の内訳に加え、物価高で購入をやめた・安い商品に切り替えた食品や、減税後に、切り替える前の元の商品を選ぶために欲しい情報など、調査結果の詳細を公開しています。

詳しい調査結果はこちら▶https://biz.delishkitchen.tv/blog/survey-food-tax-cut-2

『デリッシュキッチン』では今後も、生活者の声やデータを活かし、食品メーカーや小売企業の広告・販促活動を支援してまいります。

『デリッシュキッチン』について

レシピは「誰でも簡単においしく作れる」をコンセプトにすべて管理栄養士などの食のプロによって考案され、その総数は57,000件以上。さらに、近くのお店の特売情報の配信・クーポン配布などの毎日のお買い物がお得・便利になる機能や、管理栄養士監修の栄養バランスが取れた食事をご自宅までお届けする冷凍宅配弁当Mealsなど、食卓を豊かにするサービスを提供しています。

『デリッシュキッチン』へのアクセス方法

Webサイト：https://delishkitchen.tv/
スマートフォンアプリのダウンロード：https://app.adjust.com/a10q9lx
Instagram：https://www.instagram.com/DELISHKITCHEN.tv
X：https://x.com/DelishKitchentv
YouTube：https://www.youtube.com/channel/UC4YYMfsqUrejYXKnV--BydQ
Facebook：https://www.facebook.com/DELISHKITCHEN.tv
法人向け広告サービスサイト：https://biz.delishkitchen.tv/

会社概要

会社名：株式会社エブリー（東証グロース 証券コード：607A）
代表者：吉田 大成
設立：2015年9月1日
所在地：東京都港区六本木3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー38階
事業内容：動画メディア事業等
コーポレートサイトURL：https://corp.every.tv/
採用オウンドメディア「every.thing」：https://everything.every.tv/

本件に関するお問い合わせ
株式会社エブリー 広報担当
E-mail：info-pr@every.tv